# 2015年度環境活動レポート

対象期間：2015年7月～2016年6月

®環境省
エコアクション21
認証番号0004315

マトヤ技研工業株式会社

２０１６年７月２０日発行

# 目　次


１．経営理念 ・・・・ ３
２．環境方針 ・・・・ ４
３．組織の概要 ・・・・ ５
４．認証・登録の対象組織・活動 ・・・・ ７
５．2015年環境目標とその実績・評価 ・・・・ ９
６．2015年環境目標の取り組み計画と評価 ・・・・ 10
７．2016年度の取り組み ・・・・ 11
８．環境関連法規等の順守状況 ・・・・ 12
９．代表者による全体の見直しと評価 ・・・・ 13
１０．環境活動の紹介 ・・・・ 14

# 1．経営理念

- 社会的信頼と責任

  会社を取り巻く人々と誠意を持って協調し、お客様の視点で考え、お客様に安心で安全な機械装置を提案し、社会的信頼と責任を果たします。

- 会社の発展

  永続的発展を第一とする健全経営を推進し、業界の先頭に立ち、絶えず新技術を創造し、社会から支持され、信用される企業経営に努めます。

- 社員の幸福

  社員の幸福の達成に努め、社員は産業人として絶えず研鑽に努め、創意工夫と進取挑戦の精神で仕事に取り組みます。

## 2. 環境方針

マトヤ技研工業株式会社

環 境 方 針

人類の利便性を求める経済活動が一方では地球環境の破壊に繋がり、人類の存在を脅かしています。
マトヤ技研工業は、「低炭素・循環型・自然共生社会」を考慮し、省力化・環境配慮機器の開発、製作、販売事業、並びに有益な社内環境活動を通じ、持続可能な社会環境を追及してまいります。

1. 事業活動全般における購入資材のグリーン調達、電力・燃料等のエネルギーの効率利用や水資源の有効利用による環境負荷及びコスト削減を追及し、最適な企業活動を目指します。
2. 省力化機器メーカーとして、お客様に省力化や環境配慮商品を供給し、労働負荷や環境負荷並びにコスト軽減に貢献する企業を目指します。
3. 業務及び製作工程における一般・産業廃棄物の発生を抑制し、発生物は資源への還元を目指します。
4. 当社周辺の緑豊かな地域に鑑み、化学物質の適正保管と使用、排出抑制を行なうと共に生態系への影響の少ない物質への切替えに取り組みます。
5. 地域に育まれる企業として、地域周辺の環境保全に全社員で取り組みます。
6. 環境保全活動をシステム的に運営し、定期見直しを行い、継続的改善・汚染の予防を積極的に実施します。
7. 環境関連法規及び同意したその他の要求事項を順守する等コンプライアンスの向上を目指します。
8. この環境方針は、当社の環境活動の指針として全従業員に周知し、一般の方に公開します。

制定日：2008 年6 月1 日
改定日：2013 年7 月1 日
代表取締役 益留 福一

# 3. 組織の概要

## （1）名称及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社
代表取締役　益留　福一

## （2）所在地

本　　社　〒899-8608
鹿児島県曽於市末吉町南之郷3050-6
宮崎工場　〒885-0063
宮崎県都城市梅北町11267
大阪営業所　〒561-0853
大阪府豊中市服部南町1-4-10
東京営業所　〒121-0011
東京都足立区中央本町4-15-13

2015年11月、創業30周年記念祝賀会と宮崎工場落成記念の工場見学会を開催しました。
2016年6月に家族感謝ディーも開催し、工場見学と交流会を致しました。
来場された皆さんへ、環境活動レポートを配布しました。

## （3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　豊増　敏夫（取締役専務）
環境事務局　　益留　房代（取締役総務部長）
連絡先　　TEL　　0986-76-0018
FAX　　0986-76-2729
E-mail　info@matoya.com

## （4）創　　業　1985年6月

益留、豊増、山内　の三名で創業。
それぞれの頭文字からマトヤと名付ける

2016年6月　東京ビッグサイトのFOOMA展に出展いたしました。新製品ボンジリ脱骨機に関心が集まり、テレビ局の取材もありました。

## （5）事業内容　自動省力機器設計・製作および販売

## （6）事業の規模（2015年度：2015年7月～2016年6月）

売上高　　697百万円

| 従業員 | 本社 | 大阪営業所 | 東京営業所 |
|---|---|---|---|
| | 42名 | 3名 | 2名 |

## （7）当社のプロセス

新製品開発 ⇨ 営業 ⇨ 設計 ⇨ 加工 ⇨ 組立 ⇨ 据付工事

食肉・食品関連機械と電子部品生産システム自動車部品・クーラント関連機械の3部門　工業所有権　は　27　件

＜主な製品＞

新発売のボンジリ脱骨機と鶏腸切開機

# 4. 認証・登録の対象組織・活動

適用範囲：マトヤ技研工業株式会社 本社・宮崎工場

大阪営業所・東京営業所

事業範囲：自動省力機器設計・製作及び販売

2016年4月1日入社式

代表者
代表取締役　益留　福一

環境管理責任者
取締役専務　豊増　敏夫

環境事務局
取締役総務部長
益留　房代

EA21・ＭＩ委員会
委員長　豊増専務
事務局　益留部長

※MIとは、matoya　improvement　の意味。マトヤの改善

設計部

開発課

製造部

総務部

営業部

東京営業所と大阪営業所は、電力は非管理の為、自動車燃料等の削減のみ適用する

本 社

東京営業所

大阪営業所

## ☆　EA21委員会・MI活動委員会について

- 毎月1回、開催されます。社長をはじめとする委員10名で構成されています。
- 毎月、提出される改善メモの検討を中心に会は進行します。
- 改善メモは、毎月一人2件提出し、努力賞からダイヤモンド賞まで決定された後、掲示板に張り出されます。内容は、機械の改善からエコに関することまで、盛りだくさんです。
- 半年ごとに、グループ賞と個人賞の表彰を行ない、報奨金が支給されます。

- 赤札作戦

5Sを基本に、会社内の整理整頓、清掃等、気になる場所に、赤札が出ると、早急に対処します。　隅々まで、清掃が行きとどくように、皆で気を付けています。

# 5. 2015年度　環境目標及びその実績・評価

1．二酸化炭素排出量の削減　　目標　　実績
　① 電力の削減：基準年比　　△1%　→△6.8%
　② 燃料の削減：基準年比　本社　　△1％　→　0.2%
　　東京　　△1%　→△13.1%
　　大阪　　△1%　→　27.4%
2．一般廃棄物の削減：リサイクル率　　66%　→　96％
3．産業廃棄物の削減：リサイクル率　　91%　→　83％
4．水使用量の削減　：基準年比　　△1%　→△14％
5．化学物質の低減　：化学物質の保管管理及び保管場所の徹底清掃
6．環境配慮製品の開発及び販売促進
　①クーラント製品及び遠心分離機等
　② 業務用　光触媒環境浄化装置
　　2015年度　販売目標 55台　実績75台
7．地域清掃活動
　　2015年度　目標 46回　実績 50回
8．購入資材・事務用品のグリーン購入
　　2015年度　目標 78%　実績　86%

☆東京営業所と大阪営業所では、電力と水資源と廃棄物は、共有の為管理できませんので、自動車の燃料$CO_2$の削減のみ行いました。
☆宮崎工場は、電力と水使用量の調査を行ないました。

| | | | 基準年度 | 2015年度 2015年7月～2016年6月 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2014年度 | 目標 | 実績 | 評価 |
| 売上高 | | 売上高百万円 | 605 | ー | 697 | ー |
| 電力$CO_2$排出量　※2 | | 購入電力kWh<br>kg-$CO_2$ | 91,265<br>55,945 | 90,352<br>55,386<br>△1% | 85,089<br>52,160<br>△6.8% | ○ |
| 燃料$CO_2$排出量 | 本社 | kg-$CO_2$ | 38,169 | 37,788<br>△1% | 38,279<br>0.2% | × |
| | 東京 | kg-$CO_2$ | 14,146 | 14,005<br>△1% | 12,295<br>△13.1% | ○ |
| | 大阪 | kg-$CO_2$ | 5,976 | 5,917<br>△1% | 7,617<br>27.4% | × |
| 一般廃棄物排出量 | | リサイクル率 | ※1　66% | 67% | 96% | ○ |
| 産業廃棄物排出量 | | リサイクル率 | ※1　91% | 92% | 83% | × |
| 水資源排出量 | | $m^3$ | ※1　301 | 298<br>△1% | 259<br>△14% | ○ |
| 化学物質の適正管理と清掃 | | 回 | 24 | 24 | 24 | ○ |
| 環境配慮製品販売量 | | 台 | ※1　54 | 55 | 75 | ○ |
| 地域清掃活動 | | 回 | ※1　45 | 46 | 50 | ○ |
| 事務用品グリーン購入 | | % | ※1　78 | 79 | 86 | ○ |

評価は、○は達成、×は未達成

※1）基準年度：2012・2013・2014年度実績の平均値です
※2）購入電力の$CO_2$排出係数は、九州電力の平成25年度実排出係数0.613kg-$CO_2$/kWhで算出しています

# ６．2015年度 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた　○できた
△あまりできなかった　×できなかった

| 取り組み計画 | 達成状況 | 評価 |
|---|---|---|
| **電力による二酸化炭素排出量の削減** | | |
| 冷房温度28℃設定 | ◎ | 本社組立場の電灯と社長室の蛍光灯、組立場の外灯を　LEDに交換しました。 |
| 暖房温度の18℃設定 | ◎ | |
| 不要休憩時間照明の消灯 | ○ | |
| OA機器のこまめOFF | ○ | |
| エアコンフィルタの定期清掃 | ○ | |
| 電灯のLEDへの交換 | ◎ | |
| 断熱フィルム | ○ | |
| **自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減** | | |
| 急加速発進の抑制 | ◎ | 今年度は、エコカー購入はありませんでした。 |
| 冷暖房の控え目使用（27℃） | ◎ | |
| 買換え時はエコカーを購入する | × | |
| **一般廃棄物の削減** | | |
| 裏紙利用 | ◎ | 社員の一人ひとりの意識は、高いです。 |
| 両面印刷コピーの徹底 | ◎ | |
| ミスプリントを減らす | ○ | |
| 雑誌カタログ段ボールの再生利用への徹底 | ◎ | |
| シュレッダー廃紙のリサイクル化 | ◎ | |
| 納入業者へ段ボールの引き取り依頼 | ○ | |
| **産業廃棄物（廃プラ）の削減** | | |
| 委託処分廃棄物の削減 | △ | 工事で発生した産廃は、業者の協力で、リサイクル処理がされました。 |
| 工事での産廃の分別徹底 | ◎ | |

| 取り組み計画 | 達成状況 | 評価 |
|---|---|---|
| **節水** | | |
| 雨水の有効利用（洗車等） | ◎ | 組立場のトイレを節水型に変更する予定は、今年度も、延期になりました。 |
| 節水型トイレへ変更 | × | |
| **化学物質の低減** | | |
| 新工場へ塗装場を移設 | × | 宮崎工場への塗装場の移設は、完了していません。<br>毎月、キチンと管理も清掃も行って、在庫を増やさない努力をしました。 |
| 化学物質の保管管理及び清掃 | ◎ | |
| 塗装場清掃徹底1回/月(年12回) | ○ | |
| **製品への環境配慮** | | |
| クーラント製品等の販売 | ◎ | マグネットコンベアーは順調に売れました。<br>光触媒も営業を続けています。 |
| 業務用光触媒環境浄化装置の販売 | ○ | |
| **社会貢献** | | |
| 公民館の清掃 | ◎ | 毎週水曜日の掃除の日に、協力し合ってきれいにしています。 |
| 周辺道路の清掃 | ◎ | |
| **購入資材・事務用品のグリーン購入** | | |
| 事務用品グリーン購入対象品の購入 | ○ | 事務用品は、グリーン購入は、実行できていますが、購入資材に関しては、まだ実行は出来ません。<br>夏服のポロシャツを、素材が光触媒を使用したものに変更しました。体感が涼しいようです。 |
| 購入資材の環境配慮 | × | |
| 省エネ性能の高い電気製品の購入 | △ | |
| クールビズ・ウォームビズの制服の購入 | ◎ | |

# 7. 2016年度の取り組み

## (1) 2016～2018年度環境目標

東京営業所と大阪営業所の目標は
①環境方針等の掲示や環境活動レポートやマニュアルの設置そして定期的な環境学習
②燃料$CO_2$排出量の削減の取組を行います。

宮崎工場の目標は
①2015年度が途中からの稼働の為、2016年度も電力CO2排出量と水の使用量の調査を行います。

| 項目 ＼ 年度 | | | 基準値 | 2016年度目標 2016年7月～2017年6月 | 2017年度目標 2017年7月～2018年6月 | 2018年度目標 2018年7月～2019年6月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 電力$CO_2$排出量 （※） | 本社 | kg-$CO_2$ 前年度比 | 2015年度 43,310 | 42,877 △1% | 42,444 △2% | 42,011 △3% |
| 燃料$CO_2$排出量 本社、東京・大阪営業所 | 本社 | kg-$CO_2$ 前年度比 | 2015年度 38,279 | 37,896 △1% | 37,513 △2% | 37,130 △3% |
| | 東京 | kg-$CO_2$ 前年度比 | 2015年度 12,295 | 12,172 △1% | 12,049 △2% | 11,926 △3% |
| | 大阪 | kg-$CO_2$ 前年度比 | 2015年度 7,617 | 7,541 △1% | 7,465 △2% | 7,388 △3% |
| 一般廃棄物リサイクル率 | | % | 3ヵ年平均値 72 | 73 | 73 | 73 |
| 産業廃棄物リサイクル率 | | % | 3ヵ年平均値 89 | 90 | 90 | 90 |
| 水資源排出量 | | $m^3$ | 3ヵ年平均値 267 | 264 △1% | 261 △2% | 260 △3% |
| 化学物質の適正管理と清掃 | | 回 | 2015年度 24 | 24 | 24 | 24 |
| 環境配慮製品販売量 | | 台 | 3ヵ年平均値 67 | 68 | 68 | 68 |
| 地域清掃活動 | | 回 | 3ヵ年平均値 48 | 48 | 48 | 48 |
| 資材・事務用品のグリーン購入 | | % | 3ヵ年平均値 81 | 82 | 82 | 82 |

※購入電力の$CO_2$排出係数は、九州電力の平成27年度実排出係数0.509kg-$CO_2$/kWhで算出しています。
※3ヵ年平均値は、2013・2014・2015年度実績の平均値です。

## (2) 2016年度活動計画

取り組み計画

**電力の二酸化炭素排出量の削減**
- 冷房温度２８℃設定
- 暖房温度の１８℃設定
- 不要・休憩時間照明の消灯
- ＯＡ機器のこまめOFF
- エアコンフィルターの定期清掃
- 断熱フィルム
- 電灯のLEDへの交換

**自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減**
- 急加速発進の抑制
- 冷暖房の控えめ使用（27℃）
- 買換え時はエコカーを購入する

**一般廃棄物の削減**
- 裏紙使用
- 両面印刷コピーの徹底
- ミスプリントを減らす
- 雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底
- シュレッダー廃紙のリサイクル化
- 納入業者へ段ボールの引取り依頼

**産業廃棄物（廃プラ）の削減**
- 委託処分廃棄物の削減
- 工事での産廃の分別徹底
- 産廃ボックスへの廃棄物の最小化

**節水**
- 雨水の有効利用（洗車等）
- 雨水タンクの増設
- 節水トイレへの変更（組立場）

**化学物質の低減**
- 新工場へ塗装場を移設 化学物質の保管管理及び清掃
- 塗装場清掃徹底1回/月(年12回)

**製品への環境配慮**
- クーラント製品
- 業務用光触媒環境浄化装置の販売

**社会貢献**
- 公民館の清掃
- 周辺道路の清掃

**購入資材・事務用品のグリーン購入**
- 事務用品グリーン対象品の購入及びエコ率アップ
- 購入資材の環境配慮
- 省エネ性能の高い電気製品の購入
- クールビズ・ウォームビズ制服購入

# 8. 環境関連法規制 等の違反、訴訟の有無

**環境関連法規制等の遵守状況**　法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 規　制　内　容 | 適用される施設物品等 |
|---|---|---|
| 廃棄物処理法<br>（一般廃棄物） | ・一般廃棄物の収集運搬業者への委託<br>・契約（覚書）及び許可証写し保管<br>（許可期限切れ更新） | 一般廃棄物(紙くず、段ボール、厨芥、包装等） |
| （産業廃棄物） | ・委託先許可業確認<br>・収集運搬・処理業者との契約<br>（委託契約・産廃管理票発行・5年間保管）<br>・産廃保管基準、保管置場の表示<br>・産業廃棄物管理票交付等状況の行政報告<br>・自社による運搬時の表示・書類携行<br>・多量排出業者、産廃処理計画・実施状況報告書提出、特別管理産業廃棄物管理責任者の設置 | 廃プラ<br>金属くず<br>廃油<br>廃酸<br>コンクリートくず |
| 浄化槽法 | ・設置届出・浄化槽の維持管理<br>・定期点検・定期清掃・定期水質検査 | 合併浄化槽 |
| 自動車リサイクル法 | ・使用済み車は引き取り業者に引き渡す。新車購入時にリサイクル費用を支払う | 自動車 |
| 家電リサイクル法 | ・家電製品の廃棄時にリサイクル料金支払い | TV、冷蔵庫、<br>家庭用エアコン |
| 小型家電リサイクル法 | ・使用済小型電子機器、その他の電気機械器具の再資源化促進<br>・事業者の責務<br>・使用済機器の分別排出.収集運搬又は再資源化を適正に処理し得る者への引渡し | 家電ﾘｻｲｸﾙ法適用外の使用済小型電子機器その他の電気機械器具（通信機器、映像機器、音響機器、電動工具類等） |

| 適用される法規制 | 規　制　内　容 | 適用される施設物品等 |
|---|---|---|
| 資源有効利用促進法 | ・別名：リサイクル法<br>・使用済パソコン等のメーカー回収義務 | 社内パソコン |
| 騒音規制法 | ・特定施設の届出　空気圧縮機7.5ｋｗ以上。規制基準の遵守 | 空気圧縮機7.5ｋｗ<br>2台 |
| 毒物及び劇物取締法 | ・事故時連絡<br>・保管場所の表示<br>・盗難、流出防止 | 硝酸 |
| 労働安全衛生法 | ・有機溶剤の適正な管理・SDSの周知 | 塗料用溶剤 |
| フロン回収・破壊法 | ・フロン類回収・破壊の適正取扱い<br>・業務用ｴｱｺﾝ・冷凍冷蔵庫管理者の簡易・定期点検、漏洩量行政報告義務<br>・フロン回収充填業者登録と実績報告 | 業務用空調設備<br>コンプレッサー |

環境関連法規及び条例等への違反、また訴訟等の有無について、2016年7月20日に確認した結果、法律違反等はありません。

また、地域住民からの訴訟や苦情や要望、行政からの指導などは創業以来ありません。（2016年7月20日現在）

# ９．代表者による全体の評価と見直し

## １．環境活動の取組み結果の評価

２０１５年度の環境活動では宮崎工場の稼働に伴う電力量、及び水の使用料の増加調査。新工場への塗装場移設。
節水トイレへの変更などを計画しました。
塵の引き取り業者を変更してコスト削減を計画しました。
ＬＥＤ電球に交換を進めました。
車のエコドライブ運動を展開しました。

## ２．実績の評価

○売り上げは前年比１５％増で、ナンチク工事もあり廃材も今年もたくさん出ました。
　産業廃棄物のリサイクル率は、塵を市外に持ち出せない為に、引き取り業者を変えなくてはならず、そのことが結果的にリサイクル率を、目標から8%下げることに成りました。
○一般廃棄物はリサイクル率９５％を超え、目標を３０％近く上まわり意識の高まりが見えます。
○自動車の燃料は、売り上げの増加が原因と思われますが未達成に終わりました。
　原因の追究が出来るように、来年からは走行距離の累計を出して比較できるようにして行きます。
○電力は、本社工場の組み立て工場が制御のみになり、結果エアコンの使用が減り、この事が幸いしたと思われます。
　年間でデマンドの発動も無く目標を達成できました。
○宮崎工場は全てをＬＥＤ電球にした為、電力使用が抑えられました。冬はストーブを焚いたために灯油の使用が有りましたが、量はわずかです。
○水洗トイレを節水型に出来ませんでしたが、水の使用は目標の使用量よりも大幅に下回る使用量でした。節約意識は根付いています。
○環境配慮製品は、今期も順調に伸びました。目標５５台に対し７５台でした。
○地域清掃活動は、すっかり根付きました。年間を通して、毎週清掃して周囲もきれいに維持されました。
○購入資材は、グリーン購入が達成されました。

## ３．今後の取り組み

●ＥＡ・２１も歳を重ねるにつれ、目標値と達成率が段々と厳しくなって来ました。
　宮崎工場への塗装場の移転が完了できませんでした。
　装置自体は据え付けも終わっているので１０月中には稼働を始めます。
●赤札作戦を手始めにした５Ｓも、もう一度原点に戻り、徹底したピカピカ作戦の下、仕事のリードタイムの短縮に努め競合他社と競って行けるようにします。
●自動車の「燃費削減キャンペーン」も不発の感がありました。車の台数は今後も増えて行くでしょう。
　朝からエアコンを入れずに、窓を開けて冷気を採り入れるなどして節約に努めましょう。今年は走行距離の累計を記録して燃費との関係を調査します。
●蛍光灯は、ＬＥＤに切り替えます。
●本社工場の水洗トイレも、節水トイレに取り換えます。
●リサイクルなど完璧に目標を達成できたものも継続して取り組み、依り優しい地球環境を作って行きます。

# 10. 環境活動の紹介

## 1. 環境方針の周知

全社員を対象に、エコの報告会をしました。

新入社員5名に、エコ新人研修を行ないました。

賞 状

地域社会貢献賞

マトヤ技研工業 株式会社 殿

『エコアクション21環境活動レポート大賞・九州』事業において、審査の結果、御社の平成26年度の環境活動レポートの内容が高く評価され「地域社会貢献賞」を受賞されましたので、記念品を贈呈し、ここに賞します

平成27年11月16日

NPO法人 九州環境カウンセラー協会
理事長 宮寺 健

平成27年度エコアクション21環境活動レポート「地域社会貢献賞」を受賞し、11月16日に表彰式がありました。

## 2. 環境関連法規の遵守

年一回の消火訓練を行いました。
消火器の使い方を習いました。

酸洗い液の漏れた時の対応の訓練をしました。リトマス紙を実際使用して中和の状態を確認しました。

毎年、火災警報器の点検と消火器の点検をしています。火災報知機の取説も、解りやすいように、ぶら下げてあります。

## 3. 二酸化炭素排出量の抑制

社長室や組立場の電灯を、蛍光灯からLEDに替えました。

自動販売機も宮崎工場へ移転し、メーカーに電気料金の負担をしてもらっています。

## 4. 資源の効果的活用の推進

手作りの雨水タンクも2機あり、毎回洗車に利用しています。2016年度は、宮崎工場にも新設予定です。

インクジェットプリンターのカートリッジは回収ボックスで完全回収します。

ペットボトルの蓋も事務所で集めた古切手も、川内なでしこライオンズクラブへ贈呈します。

ニチバンの巻き芯を集めて、第6回ニチバンｅｃｏプロジェクトに応募して、感謝状と花の種を頂きました。

## 5. 化学物質の適正な管理及び清掃

塗装場はいつも清掃を行ないチェック表に記入しています

塗装場は、２０１６年度に、宮崎工場へ移設する予定です。

# ６．製品への環境配慮

## ６－１．環境配慮型クーラント製品の開発・販売

マグネットコンベアーは、機械部品加工会社の機械に取り付けて、切り粉をクーラント液の中から自動的に取り出すことによって、クーラント液の寿命を延ばし、クーラント液の使用量を減らす効果があります。（廃液が減る）

# ６－２．除菌と消臭を同時に行う業務用光触媒環境浄化装置の販売

光触媒作用は、酸化チタンに紫外線を照射することによって起こる酸化・還元反応で、日本発のオリジナル技術です。
光触媒の酸化力はオゾン(O3)よりさらに強力で悪臭物質や有害物質を分解します。また、酸化チタンの表面のみで反応が進行するのでオゾンのように人体に影響がなく安全です。
高い耐久性と優れた脱臭、除菌効果を持つ新開発の光触媒セラミックフィルター(特許登録済 第4610135号)の活用により、従来の家庭用に使用されている光触媒フィルター型脱臭機に比べ非常に高い効果を発揮できます。

光触媒環境浄化装置は、家庭でも病院や介護施設、大学病院等幅広く活用できます。

# 7. 地域の環境保全事業への参加

社員駐車場・三枝前自治会の公民館の敷地内の草刈りや清掃を行っています。

マトヤで製作し、三枝前自治会に寄付したゴミ箱です。

## 8. 購入資材・事務用品のグリーン購入

夏服のポロシャツも、光触媒とチタン入りの素材の物に変更しました。

冬服のジャケットは、リバーシブルで、内側が暖かいボアになっています。

MATOYA

マトヤ技研工業株式会社